

新型コロナウイルスが世界で猛威

日本も非常事態宣言で二ヶ月の自粛を強いられる

佐原の夏の大祭も中止に

解除は、5月22日(金)に、千葉県は埼玉、東京、神奈川、北海道と共に4日遅れの5月25日(月)に行われた。香取市も6月2日(火)から公共施設も「3つの密」をさける独自の対策を立てて開館された。佐原町並み交流館も、十全の感染拡大防止策を講じて来訪者を待っている。残念ながら、佐原の夏の大祭は、祭事を除いて中止となった。



2019年12月、中国武漢市を中心に重症な肺炎を引き起こす新型コロナウイルスが流行し始め、日本でも香港経由で横浜港に停泊していたダイヤモンド・プリンセス号の乗客から10名の感染が確認されて以降、徐々に感染者が増加した。
3月下旬、東庄町の施設で58名の陽性者のクラスター集団発生があったが、香取市での感染者は最大24名にとどまっている。
4月7日(火)には7つの都道府県に国の非常事態宣言が発せられて4月17日(金)に全国に拡大され、香取市でも同日に全ての公共施設の使用停止が発せられた。(写真・5月14日の香取街道の様子)



第66号
令和2年8月

発行 NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会 佐原町並み保存会
お問い合わせ 佐原町並み交流館
電話 0478(52)1000

新型コロナウイルス禍について

NPO理事長・佐藤健太良



東京の感染確認者が7月16日286名、17日は293名と過去最高を記録し、第二波到来が心配です。
政府は経済優先の意向ですが、多くの市民は拡大を危惧しています。その中で佐原の商業活動は、稲敷市に大型店舗が開店し、買い回り品などのお客が激減した結果、購買力低下が見られます。景観形成地区では、観光客からの収入が主であり、観光事業活性に頼る地区(観光地化)となつていきます。
当会の唱える「本物志向での

新館長に就任の挨拶

久保木 純生

この4月1日より佐原町並み交流館館長として就任いたしました。43年間香取市職員を勤めて、平成25年3月に退職いたしました。



就任早々、新型コロナウイルス感染症対策として全館の休館を余儀なくされ、研修室の利用やイベント開催が不能となって大勢の方々に多大なご迷惑ご不便をおかけいたしました。幸いにも6月2日より開館ができました。佐原を愛してやまない皆様と共に佐原の魅力を全国に発信して、ご来館くださる方々に暖かく接してまいる所存です。今後とも皆様の暖かいご支援とご指導をお願い致します。

交流館も3密対策を万全にしつつも、これから始まる小学生の総合学習への対応には、頭を痛めています。二階の貸室利用では、人数制限(以前の半数)と時間差制限をしています。
「もう一度、訪ねていただけ

万全な対策をとって

修理・修景「生きた町並み」は補助金が出たとしても、主である修理の資金を確保することと共に、生活する地域の存続には安定した収入が必要です。



コロナ感染対策をする交流館内

新型コロナウイルス防止対策として、伊能忠敬記念館は、検温・消毒・来館者名簿の記入は当然として、人数制限や時間制限も行っています。山車会館も同様の対策をとり、両館共15人以上の団体客入場をお断りしています。
十二分のコロナ対策をとって、お客様の安全を考えたご案内に務めて、佐原の町並みの中に新しい感動を発見していただけるようスタッフ全員で頑張ります。

新しい生活 (圓城寺達雄)

草木も眠る三三時、佐原の町並みを歩いたことが有りますか？こんな時間に歩いたら変なオジサンと通報されそうですが、時代の面影に吸い込まれそうになりながら犬猫一匹いない、柳の葉の色合いが信号の色で変わりゆく、この時間が実に不気味に心地よい。

今年のゴールデンウィークの昼間の町並み。車が無い、歩く人が無い、ジャージャー橋の落水音が大きく聞こえてくる。見たことの無い景色感覚、人々何処、マスクをして歩いて周りを見て歩いているけれど、いったいこれって新しい生活？

お！ 黒鍵穴の家に (案内班)

英語の歌の練習 (保科 千秋)

新型コロナウイルスの関係で3月より趣味の社交ダンスが中止となりました。この機会にダンス曲である江利チエミの「テネシー・ワルツ」を英語で覚えようというtubeを聞いたりCDを買って練習しました。

ここで一つ疑問が。江利チエミの歌詞は「I was waltzing」なのですが、パティ・ベージの歌詞は「I was dancing」です。日本人の歌は全部「waltzing」です。米国人の歌手は「waltzing」と「dancing」が混在しています。どうでもいいことですが、なぜだか知りたい。今ではこの歌を英語で歌えるようになりました。勿論江利チエミの方です。 (案内班)

節煙と節円 (平澤 節夫)

町並みガイドがなくなり、はや四ヶ月。

自作のガイド冊子を読み返して備えてきた。仲間とのIFC(伊能忠敬ファンクラブ)も中止続き。作成資料が大分厚くなった。新しい二つの試みが二ヶ月を超えた。①喫煙本数を三分の一へ。節煙と節円。②25年以上続くジョギングを週一回から週二回へ。体調に目立った変化なし。これから未体験の夏のマスクだ。何とも鬱陶しいところなり。 (案内班)

あらためて気づく (清水 健三)

当たり前に日常生活が送れることは有り難いことだとあらためて気づかせていただきました。 (案内班)

生活リズムの崩れ (白木 文子)

何十年も続けてきた各部会の活動が二ヶ月余り中止で、毎日の食事づくり等で苦労が多い。自粛生活は本当に大変。案内を始めた頃と町並みの様子が少しづつ変化してきているので、資料をもう一度見直しています。またストレッチ、フラダンス、ウォーキング等をしてコロナ太りにならぬよう気をつけています。この自粛生活が早く収まって、大自然の空気を胸一杯に吸い込みたい。 (案内班)

ステイ・ホームで考えたこと (青柳 英男)

十四世紀のベスト大流行下、難を逃れて十日間、順番に物語を語る「デカメロン」も同様の体験をしたか。地球四十六億年の歴史の中ではウイルスは大先輩。人類は夜中十二時数分前に誕生したらしい。それにしても、人との交流・情報の伝達を通して生きることの大切さを、長いストレス状態の中で教えられた。非常事態宣言が出た当初は、この状態が

無限に続くのではと思われた。 (案内班)

おこもり生活 (久保木恵子)

子供の臨時休校が突然始まり、私の勤務調整と重なって、狭い家の中がより窮屈になった。大学生の子はオンラインで授業をこなして来年の就職活動に備えているが例年とは全く違った就活になりそう。高校生の子は受験を控えて何とか自主学習をこなしているが、部活動も文化祭も中止になり生活に張りがない様子。私とはというと、居場所はないけれど時間はあるので、家の隅でおとなしくしていた。少しでも子供達を元気にしたくて、食事づくりに頑張った。現在、高校の授業は再開されたが、遅れた分だけ授業を頑張らなければならぬようだ。コロナ禍は先が見えないが早く収束してほしい。 (コーディネーター)

人との繋がり (田村 順子)

人の動きを止める「コロナ」。町並みから観光客が消えて寂しく思います。勉強したい、楽しみたい、のんびり散策してほしいと思っている人達に早く戻って来てほしい。こんな状況下で、あらためて人との繋がりの大切さがわかりました。家から出られない、人に会えないことがこんなに辛いなんて。 (コーディネーター)

COVID19の夏 (飯島 和夫)

PANDEMIC再びパンドラの箱を開けたヒト科の動物は、このウイルスなる不可視の敵に恐れ慄き、郷土の偉人伊能忠敬も地球一周四万キロに巨大なマスクを掛けてこの災禍に対処する覚悟。コ

ロナ禍の中にあつては一步六十九センチならぬ二メートルの大步で歩まねばならぬ。仏教界に於ける三密(身・口・意)も今年はお色直し。世情はお隣り同士、夫婦恋人さえも、社会的距離に神経を尖らせる。やがてヒューマンディスタンス(人間的距離)へとウイルス変異が起る懸念。人種及び国家間の対立への引鉄になるやも。女神パンドラも困り者。都知事も感染者の数字に頭を悩ませる昨今、マスクミで言葉が独り歩きするPCR法って？極々微量のDNAまたはRNAを酵素反応で増加させる方法らしいが、吾等門外漢には理解不能。参考までに米国の生化学者キヤリー・B・トーマスの開発したDNA合成酵素(ポリメラーゼ)による連鎖反応法のこと。クラスターなる語も一般用語になる。湾岸戦争での物騒な米軍使用の爆弾以来久しぶりに耳にした。元素原子三個以上の固まりが結合する構造！、知ったことか！戦々恐々！しばらく我々庶民は南無アマビエ大菩薩！ (案内班)

マスクを着けて散歩 (吉田 昌司)

大正十五年十二月十六日生まれで66歳93歳6ヶ月になります。コロナの非常事態宣言が出ていた間、しっかりとマスクを着けてルーティーンの散歩はしていました。コロナウイルスは、世界的に被害が大きいし、どうしても人間は神経質になります。日本の死者数が世界と比べて多くないのが救いです。非常事態が解除になり、少しずつ観光客が戻っています。佐原の夏の大祭の中止は残念ですが、敗戦直後の昭和二年夏には、佐原の大祭は復活していました。 (案内班)

感染症・新型コロナウイルス (菅井 健一)

感染症対策は、ウイルスに対し免疫を持つ事、感染経路を断つ事、ウイルスに対抗できる体力を持ち、治療に専念する事といわれる。過去の歴史の中でも、ペスト・天然痘・結核等、人間を戦慄させた感染症を克服してきた。2020年東京五輪開催という大イベント直前での流行。選手の方皆さん！元気に乗り越えていただきたい。 (案内班)

アヤマのシーズンなのに (加瀬 正人)

今年一月に国内初の感染者が発生してから半年が過ぎた。武漢で新型の感染者が出たという報道を聞いた時は「また新型の風邪か」程度の感覚だった。二月にクルーズ船内で患者が発生し国内の感染者が増えたが「日本人の衛生感覚からすると大丈夫だ」と高を括っていたが、三月になり、交流館も何かの対応をしなくてはと思っていた矢先、研修室の貸し出し中止、東庄町の施設での患者発生、七都県の緊急事態宣言が出て、交流館も閉鎖となった。例年ならアヤマやゴールデンウィークなのに町並みは静か。ワクチン開発までは新型コロナウイルスと共存していかなくてはならないのか。 (事務局長)

「考える会」の主な事業

- 骨董市は三月〜六月は中止
- 三月二日(月)〜三日(火)
- 一階研修室の貸出中止
- 三月七日(土) ひな舟開催中止
- 三月七日(土)〜八日(日) 建物公開中止

利根川舟運で栄えた近世の佐原 —村のなかの町—

江戸時代の物流は、大量で安価に運送できる舟運が中心で、利根川では大型の高瀬舟が使われていました。水上交通のターミナルである河岸場は民間の商品経済が拡大してくるとおおいに発展し、下利根川一帯の河岸場でもっとも繁栄をみせたのが、佐原でした。下の延享2(1745)年村絵図に見られるように、佐原は台地から北上して利根川に流れ込む小野川沿いと、これと交差する香取道を軸に町並みが形成されています。河岸場を基点に町場が形成されており、武士が居住していない純粋な在方の町でした。このことが、近世都市の典型であった城下町とは異なった大きな特色です。



延享2(1745)年佐原村絵図(部分)

明和9(1772)年から始る江戸幕府の調査では、佐原は取引品目として米穀1万俵程、薪は高瀬舟で18艘程、諸品の売荷は数知れずと報告しています。町場の繁栄は、商工業者の同業組合である仲間が結成されていくことにも現れてきます。享保11(1726)年、9名で構成された酒造仲間を始まりに、明和期頃には鍛冶仲間・商人仲間・材木仲間・醤油屋仲間・穀屋仲間・舟持仲間が結成されており、幕末期には塩屋仲間・油屋仲間などができました。また村外から入り込んできた商工業者や奉公人を吸収して戸数と人口も増加を続け、天保9(1838)年には1163軒・5649人とあり、利根川通で最大級の町場となりました。(酒井右二)



ふうりん展・本宮華水社中
7/16~31

非常事態解除後、初の館内展示

佐原町並み交流館での新型コロナウイルス感染症防止対策として、来館者には、休館・開館時を問わず「三密」対策のために入館カードの提出、マスクの着用、手の消毒、展示物への接触の禁止をお願いし、又、開館前のスタッフによる館内消毒、一時間毎の換気と消毒、研修室等の利用者の人数制限と使用時間制限、使用中の一時間毎の換気と使用後の消毒を行っています。

交流館の運営について

交流館館長・久保木純生

- 三月一六日(月)~四月三〇日(木) 研修室の貸出中止
- 三月一九日(木) 佐原町並み研修旅行中止
- 三月二六日(木) 第一二回案内班会議
- 四月五日(日)~六月三〇日(火) 交流館閉館
- 四月一九日(日) 理事会(書面会議送付)
- 四月二八日(火) 監査会
- 四月三〇日(木) 総会(書面会議送付)
- 六月一九日(金) 防火設備器具点検
- 六月二五日(木) 案内班会議(第一回)
- 七月五日(日) 第一六五回骨董市
- 七月一四日(火) 三菱館検討委員会
- 七月一八日(土) 小野川清掃中止
- 七月二八日(火) 第二回案内班会議

千葉県指定文化財「三菱銀行佐原支店旧本館」

ゆかりの「清水建設千葉支店」が修復工事②

工事長・樋山裕己氏に聞く「洪沢栄一」の教え

子供に誇れる仕事を

必ず社業は発展するという信念に基づいています。

まさにこの佐原三菱館の新築を行っていた時代(大正三年)に、洪沢栄一翁が当社の相談役に就任して、会社組織をしっかりと立て直してくれました。栄一翁は当社にとって、大変意義のある方です。

当社の社である「論語と算盤」とは、洪沢栄一翁の教えであります。社会やお客様に喜んでいただける良い仕事をすれば、

請負業という事業形態は、お客様の信頼によって成り立っています。社会やお客様に喜んでいただける良い仕事をすれば必ず社業は発展する、という我々出入り大工からはじまった当社の精神そのものなのです。

その精神を守り続け、伝承してきたことが「子供に誇れる仕事を」につながっていると私は感じています。

また、CMにもありますように、「作るって楽しいよ」の言葉通り、モノづくりを生業にする当社は、モノづくりで社会やお客様に貢献できるように務めています。モノづくりがいかにかに楽しいかということを伝承していきたい

ものづくりは楽しい

また、CMにもありますように、「作るって楽しいよ」の言葉通り、モノづくりを生業にする当社は、モノづくりで社会やお客様に貢献できるように務めています。モノづくりがいかにかに楽しいかということを伝承していきたい



「子どもたちに誇れるしごとを」
ユニークなキャッチ・コピー

「論語と算盤」(洪沢栄一著)

日本でも最初の銀行・第一国立銀行をはじめ、生涯に約500もの会社の設立に関わった人。各地で行った講演の内容を一冊にまとめたもの。

道徳を「論語」、経済を「算盤(そろばん)」に譬えて、それを一致させることを説いている。「論語」は栄一の座右の書。

かねばならないと思っています。現在の社会では、ハードよりソフトの仕事の方が人気があるようですが、子供たちに誇れる楽しいモノづくりをすることが出来る会社だということを強くアピールしていきたいという思いがあります。

町並みを
歩いて
聞いた

「ちよつといい話」

越川悦子(案内班)

コロナ禍の中で予定されていた多くの行事が中止となり「不要不急の外出はなるべく自粛してください」という規制が出されていましたが、今がちょうど小野川辺りの家並みが柳の葉で隠れてしまう直前の最高の風景が見られる時期でしたのでカメラを持って川岸を歩きました。

途中、何軒かの店に立ち寄り買い物しようとしたのですがどの店も品数が少ないので理由を聞いてみると「その品物は自粛が解いたら作るそうです」とか、他の店では「その品物はしばらくは入荷してきません」等の暗い話ばかりを聞いていました。

すると、川向こうから観光客に町並みを案内している聞き覚えのある声が聞こえてきました。

その声の主は、前佐原町並み交流館長だった高谷さんでした。

高谷さんの説明が終わるのを待って、佐原町屋館内の高谷さんのサイトへ行って色々な話を聞くことが出来ました。

町の人通りの少ないことやコロナの暗いニュース等を話し込んでみると、高谷さんがニコニコし始めてきました。

「明るいニュースがあるんですよ」と次のような話を切り出しました。

以前、東京から佐原へ観光で来たことのあるご夫婦のことです。佐原はとても素晴らしい町だと言った後で「佐原に住んでみたいので、住む家かまたは家を建てる土地があったら探してほしい」と問い合わせてきたことがあったのですが「現在はアメリカに住んでいるが、日本に帰ったら、是非、佐原に住みたい」と、連絡をとり合いながら移住の話を進めているそうです。



地域経済活性化に
チャレンジ・ショップの建設すすむ

佐原の良さを心からわかってくれる人がいるという久しぶりに明るいニュースが聞けた心あたたまる小野川散策でした。

134年前には

玉造 功(案内班班長)

町並み案内の予約は、2月半ばからキャンセルが増え、3月には案内が途絶えてしまいました。案内の無い案内班については何も記すことがありませんので、昔のことを少し紹介して責めをふさぎたいと思います。

明治19年6月7日に安房のある村で、一人の男が虎列刺(コレラ)を発症しました。直ちに、千葉県は「虎列刺病予防の訓諭(教えさとす)」を発表し、衛生と清潔を訴えました。また、大勢の人々が集まって神仏に祈ることや祭礼や寄席など、人々が密集することは止めるようにと呼びかけました。

8月6日には、千葉県がコレラ流行地と認定され、茨城県からは利根川の渡船を差し止められるなど、交通遮断も行われました。

12月8日に流行が終息するまでの185日間の千葉県の患者は3536人、死者は2334人という恐るべき致死率でした。

134年前は、消毒と清潔、検疫と隔離だけが武器の時代でした。マスクが登場するのは、大正時代のスペイン風邪以降のことになります。

伊能忠敬の長女イネの「勘当」の一件

小堤村の百姓家の次男坊が十七歳の時、神保・伊能両家の親戚筋・平山家へ養子として入り、叔父にあたる平山季忠が昌平饗の学頭・林鳳谷より「忠敬」という名をいただき、平山忠敬という名をいただきました。

伊能忠敬研究会の渡辺一郎氏は「勘当といっても、相続権まで取り上げるようなことはなく、あくまで親族間の交流の断絶で「久離(きゅうり)・経済的な連帯責任を免れる目的がある」に近いようだ」と述べています。

江戸を引き払った盛右衛門(初代・勘兵衛と名乗る)とイネは九十九里片貝で「加納屋」という米穀商を営んでいました。

一八一〇年、忠敬が第七次の九州測量中に夫・盛右衛門が五四歳で亡くなるとイネは剃髪して「妙薫」と名乗り、詫びをいれて佐原の実家に戻ります。長男景敬の嫁リテと協力して、伊能家を支え、忠敬への協力や気遣いを細やかにしています。忠敬の最期には身の回りの世話もし、孫の忠誨の養育にも尽くしました。忠敬の死から4年後に58歳で亡くなりました。孫の忠誨が十六歳の時です。

二度目の妻の子の伊能秀蔵の勘当、内弟子の平山郡蔵の破門(その後許されて地図の製作を手伝う)など、忠敬の妥協しない厳格さは半端ではありません。

しかし、イネはあくまで夫に従い「離縁はしない」と強硬に抵抗しましたので、忠敬はしかたなくイネをも「勘当」してしまっています。

天明七年に江戸の盛右衛門のもとに出走したため勘当されたという説が流布したことがありました。この駆け落ち説による勘当説は資料の誤読によるもので、伊能家の文書や手紙によって否定されています。イネの勘当は寛政七年末から八年初めの頃で、別の理由によるものでした。

江戸店で盛右衛門の商売上の不手際が発覚して、忠敬は盛右衛門を「離縁」してしまいます。

(平澤節夫)